



はなみずき

横浜市立鶴ヶ峯中学校
学校だより No. 231
令和4年9月29日

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/tsurugamine/>

学校教育目標

生徒一人ひとりが生き生きと自分らしい生き方を切り拓いていくための学びの場として、本校は次のことを重点とした教育活動を進めます。

- 自ら学び伸びる (知)
- 共に生きる (徳・公・開)
- 健やかな体をつくる (体)

ノンバーバル(非言語) コミュニケーションの有効性

校長 木村 達洋



9月2日(金)に不動丸小学校にて、小中合同の教職員研修を実施しました。

今年度の内容は、講師として今年度から両校のスクールカウンセラーをご担当していただいている方による「傾聴訓練」を行いました。

「傾聴力」は、今やカウンセラーだけでなく、教職員にとってもとても重要なスキルです。これまでも、あらゆる場面で「傾聴訓練」が実施

されておられ、多くの教職員が経験している研修でもあります。辞書によると「聞く」は「音や声を耳で感じる」、「聴く」は「自分の方から積極的に

耳を傾ける」とあり、その違いとして「聴く」には「相手に寄り添い、音や声、言葉の背景も理解しようとする」とあります。

今回の研修では、「傾聴力」を高めるうえで、「ノンバーバル(非言語)」の大切さについて話がありました。

人と直接会って話をするうえでは、「言語」としての情報だけでなく、「表情」「声のトーン」「身振り手振り」「相手との距離」「姿勢」などの「非言語」が、相手の気持ち

や感情を表すサインとなっていることが多いものです。特に「目」は、そのサインが良く表れる傾向があり、「目は口ほどに物を言う」ということわざがあるのも納得できます。

よく「傾聴訓練」では、「相手と目を合わせないで」「何も返事をしないで」「うなずかないで」等という条件で話をすることがありますが、とても話しにくく、話を聞いても

からえていない印象を強く感じます。いかに、話しやすい状況を作るかも「非言語」の重要性の一つとなります。

今は、メールやSNSが進んでいて、「言語」だけが伝わり、その背景や感情が見えな

いままに広がり、時にはトラブルに発展することもあります。既に皆さんがお気づきの通り、大事な相談や話は、電話や直接会って話をすることが大切ではないかとも感じます。

一方、「ノンバーバル(非言語)」にも注意が必要です。一生懸命に表情や気持ちを込めたとしても、相手に伝わらないこともあります。「きっとわかってくれたはず」「こんな思いで話をしたから伝わったはず」と一方的に理解してもらえたと考えてしまうことがあります。やはり大事なことは「言葉」にしないと伝わりません。「以心伝心」は困難

です。また、どんなにしっかりと言葉で伝えたとしても「姿勢や態度」が伴っていないと、逆効果になります。例えば、言葉では「申し訳ありません」と謝っているにも関わらず、ふんぞり返り、強い口調で言葉を発しているような状態です。

今回の研修は「傾聴訓練」でしたが、これからも様々な研修を通して、教職員一人ひとりがスキルアップできるように、取り組んでいきたいと考えております。これからも本校の取組にご理解とご支援をいただきますよう、お願いいたします。

実施されておられ、多くの教職員が経験している研修でもあります。

辞書によると「聞く」は「音や声を耳で感じる」、「聴く」は「自分の方から積極的に耳を傾ける」とあり、その違いとして「聴く」には「相手に寄り添い、音や声、言葉の背景も理解しようとする」とあります。

今回の研修では、「傾聴力」を高めるうえで、「ノンバーバル(非言語)」の大切さについて話がありました。

人と直接会って話をするうえでは、「言語」としての情報だけでなく、「表情」「声のトーン」「身振り手振り」「相手との距離」「姿勢」などの「非言語」が、相手の気持ち

や感情を表すサインとなっていることが多いものです。特に「目」は、そのサインが良く表れる傾向があり、「目は口ほどに物を言う」ということわざがあるのも納得できます。

よく「傾聴訓練」では、「相手と目を合わせないで」「何も返事をしないで」「うなずかないで」等という条件で話をすることがありますが、とても話しにくく、話を聞いても

からえていない印象を強く感じます。いかに、話しやすい状況を作るかも「非言語」の重要性の一つとなります。

今は、メールやSNSが進んでいて、「言語」だけが伝わり、その背景や感情が見えな

いままに広がり、時にはトラブルに発展することもあります。既に皆さんがお気づきの通り、大事な相談や話は、電話や直接会って話をすることが大切ではないかとも感じます。

一方、「ノンバーバル(非言語)」にも注意が必要です。一生懸命に表情や気持ちを込めたとしても、相手に伝わらないこともあります。「きっとわかってくれたはず」「こんな思いで話をしたから伝わったはず」と一方的に理解してもらえたと考えてしまうことがあります。やはり大事なことは「言葉」にしないと伝わりません。「以心伝心」は困難

です。また、どんなにしっかりと言葉で伝えたとしても「姿勢や態度」が伴っていないと、逆効果になります。例えば、言葉では「申し訳ありません」と謝っているにも関わらず、ふんぞり返り、強い口調で言葉を発しているような状態です。

今回の研修は「傾聴訓練」でしたが、これからも様々な研修を通して、教職員一人ひとりがスキルアップできるように、取り組んでいきたいと考えております。これからも本校の取組にご理解とご支援をいただきますよう、お願いいたします。

旭区横浜子ども会議

8月30日（火）午後旭公会堂において、「旭区横浜子ども会議」が行われました。本校から代表として、3年生の生徒会長さんが参加しました。

「横浜子ども会議」は、横浜の将来を担う子どもたちが「いじめ」を自分たちの問題として捉え、だれもが安心して生活できる、いじめの起こりにくい社会をつくろうとする意欲を引き出すことなどを目的として毎年開催されています。

市全体のテーマである「誰もが居心地のよい学校」を目指すための取組について、小中ブロック毎に発表があり、鶴ヶ峯中学校ブロック（鶴ヶ峯中と不動丸小）では、鶴中の取組として「目安箱」「あいさつ運動」「昼企画」「体育祭縦割り活動」「地域の方との関わり」について説明をしました。また他校の様々な取組も知ることができました。この会議で得たものを、今後の生徒会活動へ活かしてほしいと思います。



総合防災訓練を実施しました

8月31日（水）5校時に大地震を想定した総合防災訓練を実施しました。

内容としては、生徒には何時に訓練を実施するか知らせずに、地震発生時の訓練放送を流し、避難経路の安全を確認したうえで校庭へ一時避難するという訓練となります。

生徒の皆さんは、防災への意識が高く、整然かつ真剣に取り組むことができました。

保護者の皆様におかれましては、マチコミによるアンケートのご協力、ありがとうございました。生徒にも振り返りアンケートを実施しておりますが、その結果を簡単にお知らせいたします。（保護者回答数 352名）

- 「保護者の方の本日の居場所を知っていますか」
⇒「知っている」生徒68.6% 保護者63.9%
- 「交通機関がマヒしている状況で、保護者の引き取りは何時頃だと思いますか」
⇒「発生から18時まで」生徒58.6% 保護者75.0%
「18時から21時まで」生徒28.5% 保護者16.8%
「21時から24時まで」生徒8.5% 保護者4.0%
「翌日0時以降」生徒3.3% 保護者2.0%
- 「普段から家族と防災について話し合っていますか」
⇒「ひんぱんに話している」生徒4.4% 保護者2.8%
「ときどき話している」生徒24.1% 保護者32.7%
「少し話したことがある」生徒35.8% 保護者43.8%
「ほとんど話したことがない」生徒22.7% 保護者17.9%
「全く話していない」生徒12.9% 保護者2.8%

※他のアンケート結果については、教職員内で共有し、学校の今後の防災体制に反映していきます。

生徒・保護者双方のアンケート結果から、防災の意識を持ち、学校で発生した場合は、「引き取りカード」に記載された保護者等の引き取りまで学校で留め置きになることの理解が深まっていることがわかりました。学校としては、引き取り時間が半日以上かかる方が半数以上いることが回答からわかり、発生時間にもよりますが、学校での留め置き時間が長時間となることも考えなければならないことがわかります。

本校は、地域防災拠点校として、地域の避難所の機能も確保しなければならないことから、その体制を意識していかなければならないことがわかりました。

また、発生時間に関わらず、大地震が発生した場合に生徒の安否について確認をする必要があります。もしもの時は、あらゆる手段を利用しながら確認をしますので、ご協力をお願いします。また、可能な限り学校へご連絡いただくとありがたいです。

ご家庭においては、いつ発生しても大丈夫な居場所確認や防災についての話をしておくことが大事であると考えます。ぜひ取り組んでみてください。

地域清掃ボランティアに参加しました！

8月27日（土）に、白根公園を中心とした地域清掃活動が行われました。本校からは、申し出てくれた有志生徒5名がボランティアとして参加しました。当日は、青少年指導員や地域の方、不動丸小学校の児童と総勢50名位がグループを作り、グループごとに白根公園や地区センター、鶴中や不動丸小周辺の清掃活動に取り組みました。地域の美化は地域で守る。地域の一員として自分たちの住んでいる地域へ貢献する気持ちをこれからも持ち続けてほしいと願っています。参加してくれた皆さん、ありがとうございました。



お知らせ

○授業参観週間における保護者の参観について

10月3日（月）～8日（土）に予定されている「授業参観週間」については、既に保護者向けのご案内を配布しておりますが、生徒及び来校の保護者等の感染予防の観点から、参観される際には次の点にご留意いただくとともに、一部の参観については制限をさせていただきますのでご承知おきください。

- ・万一の感染者発生に備え、必ず昇降口にある名簿に記録をしてください。参観の状況について問い合わせをさせていただく場合もありますのでご了解ください。
- ・教室内での参観については、密を避けるため「保護者5人まで」とし、人数が多い場合は、交替してゆずりあいながら、また、廊下からの参観をお願いします。
- ・学活の授業等における「鶴中祭合唱練習」の時間においては、リスクの高い活動であることもあり感染予防策を徹底して実施しております。そのため、大変申し訳ありませんが、合唱練習時間（体育館も含めてすべての場所）の保護者の方の参観は不可とさせていただきます。ご理解とご協力をお願いします。
- ・10月8日（土）2校時については、学校運営協議会の委員の方が参観されますのでご承知おきください。

☆今年度の卒業式は 令和5年3月8日（水）に決まりました。

詳細は時期が近づきましたらご案内をいたします。

<主な行事予定>

※状況によっては変更となる場合があります。

9月28日（水）	鶴中祭週間開始
10月 3日（月）～8日（土）	授業参観週間
4日（火）	鶴中祭 展示の部開始
6日（木）	PTA 役員会・実行委員会
8日（土）	休日授業参観・学級懇談会 第3回 小中合同 学校運営協議会
11日（火）	代休
13日（木）	個別支援学級 市合同体育祭（三ッ沢）
20日（木）	第50回鶴中祭（合唱の部、閉祭式）
26日（水）	児童生徒交流日
10月28、31、11月1、2、4日（金、月、火、水、金）	3年保護者面談
11月 2日（水）	市総体閉会式
4日（金）	はまっこ読書の日
15、16日（火、水）	2学期期末試験
18日（金）	3年進路保護者説明会
29日（金）	生徒会本部役員選挙